エコアクション21
環境経営レポート

〈対象期間：2022年8月1日～2023年7月31日〉

株式会社プレスト

発行　　2023年11月7日
改定　　2024年2月18日

目　次

環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

当社の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

環境経営システム実施体制図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

環境経営計画及び手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

主要取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６．７

環境経営計画の取組結果と評価・次年度の取組・・・・・・・・・・・・・・８

環境関連法規への違反、訴訟等の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・９

代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直し・・・・・・・・・・・・・１０

株式会社プレスト

環 境 経 営 方 針

＜基本理念＞

株式会社プレストは「環境負荷の低減活動を通じて経営基盤の充実と地球環境に貢献する」という基本理念のもとに、企業活動を通じて人々の健康と豊かな社会の実現を目指し環境活動に取り組んでいきます。

＜行動指針＞

１．環境に関する法規制などを遵守します。

２．環境目標を定め、継続的改善に努めます。

３．省エネルギー･省資源・節水に努めます。

４．廃棄物の削減、再利用・リサイクルを推進します。また、化学物質の適正な管理を行い環境汚染の予防に努めます。

５．お客さまに点検整備の必要性とエコドライブ情報を提案し、環境にやさしい車両の販売を推進します

６．全従業員に環境方針を周知徹底し、環境問題の意識向上を図ります。

制定日：2017年8月1日

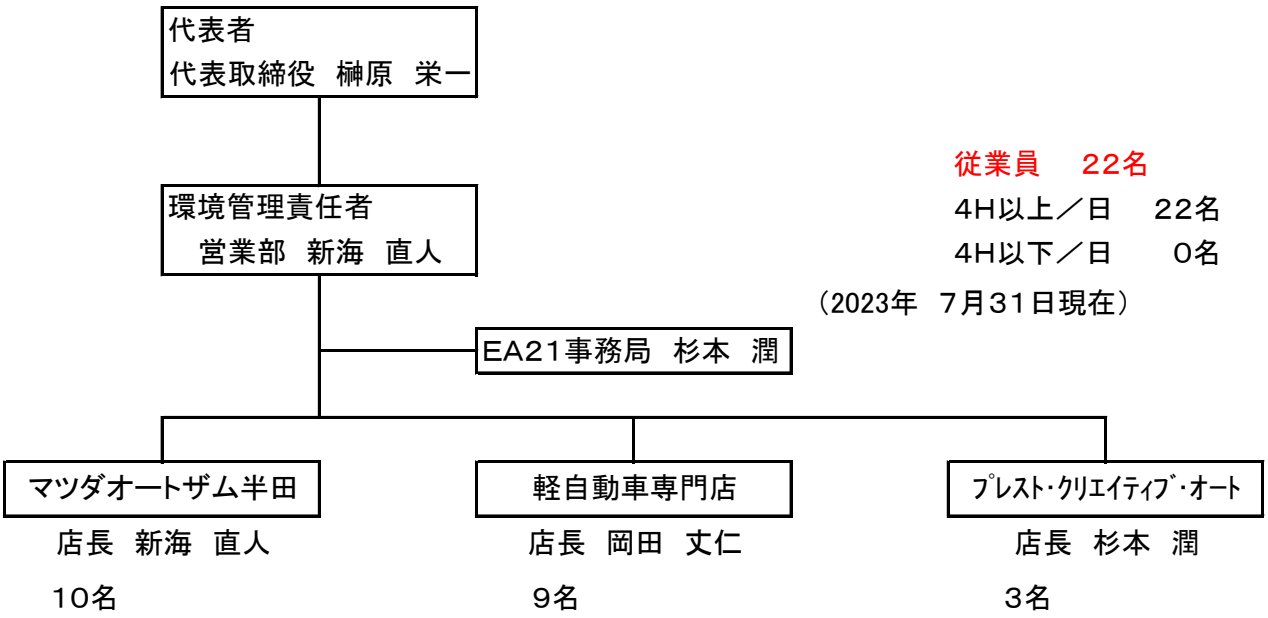
代表取締役社長
榊原栄一

当　社　の　概　要

事　業　所　名	株式会社プレスト	
代　表　者　名	代表取締役社長　　榊原 栄一	
所　在　地	マツダオートザム半田	〒475-0903　愛知県半田市出口町2-247
	軽自動車専門店	〒475-0037　愛知県半田市中午町141
	ﾌﾟﾚｽﾄ･ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞ･ｵｰﾄ	〒475-0966　愛知県半田市岩滑西町4丁目20-1
連　絡　先	ＴＥＬ　0569-23-0001	
	ＦＡＸ　0569-23-1700	
Ｅ－mail	jun.sugimoto1@gmail.com	
環境管理責任者	営業部　店長　新海　直人	
環境保全担当者	営業部　　杉本　潤	
事　業　内　容	自動車及び自動車関連部品の販売、自動車の修理・整備・車検、自動車ローン・リース・レンタカーの斡旋及び取次ぎ、保険代理店	
事　業　規　模	売上　　19.24億円(2022年度)	
従　業　員　数	22名	
敷地面積	マツダオートザム半田	４７３．９８㎡
	軽自動車専門店	６０７．４７㎡
	ﾌﾟﾚｽﾄ･ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞ･ｵｰﾄ	４９９．６４㎡
エコアクション２１対象範囲	全組織・全活動を対象とする	

2023年7月31日　現在

環境経営システム　実施体制図



従業員　22名
4H以上／日　22名
4H以下／日　0名
（2023年　7月31日現在）

(注)エコアクション21の活動は、全組織・全活動を対象に取組んでいます。

		役割・責任・権限
代表者	榊原社長	・環境方針の策定 ・環境管理責任者の任命 ・資源の準備（人員・設備・費用等） ・代表者による全体の評価と見直し
環境管理責任者	新海店長	・環境経営システムを構築・運用・維持し、状況を代表者に報告 ・外部からの苦情の受付 ・環境活動レポートの作成
環境事務局	杉本　潤	・環境関連文書及び記録のの作成・管理等 ・環境活動計画の実施状況確認
部門長	新海　直人 岡田　丈仁 杉本　潤	・環境目標及び環境活動計画の運用管理
全従業員		・環境方針の理解と環境への取組みの重要性の理解 ・決定事項を守り、自主的かつ積極的に環境活動へ参加

環境経営中期目標 及び実績

※毎年度、代表者による見直しを踏まえ、目標値及び達成年度を見直す。

環境方針	環境目標項目	担当部門	単位	基準年度	年度目標（基準年度より毎年1%減（増））					実績	評価
				2020年度 (2020/08/01～2021/07/31)	2021年度 (2021/08/01～2022/07/31)	実績	評価	2022年度 (2022/08/01～2023/07/33)	2023年度 (2023/08/01～2024/07/31)	2022年度 ((2021/08/01～2022/07/31))	2022年度 (2021/08/01～2022/07/31)
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減 （　）売上高原単位	全部署	kg-CO2	77,319	76,546	76,369	○ 0.2%減	75,773	74,999	76,007	×
			kg-CO2/百万円	49.0	48.5	46.2	○	48.0	47.6	39.5	○
	電気使用量の削減	全部署	kwh	120,644	119,438	120,452	×	118,231	117,025	120,415	×
	ガソリンの使用量削減	全部署	L	9,089	8,998	8,841	○	8,907	8,816	8,797	○
	軽油の使用量削減	全部署	L	4,073	4,032	3,956	○	3,992	3,951	3,861	○
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	工場部	t	5.65	5.59	5.51	○	5.54	5.48	5.39	○
	産業廃棄物の削減	工場部	t	5.90	5.84	5.81	○	5.78	5.72	5.97	×
節水	水使用量の削減	全部署	m3	559	553	546	○	548	542	537	○
化学物質・有機溶剤使用量の適正管理	化学物質使用量の管理 有機溶剤使用量の管理	工場部	L	990	980	1006.0	×	970	960	1039.0	×
グリーン購入の推進	事務用品・備品のグリーン購入	全部署	エコ商品	52	53	53	○	53	54	55	○
環境配慮製品・サービスの提供	エコカーの販売	営業部	台数	220	222	224	○	224	227	241	○
	パックdeメンテ契約	営業部	台数	42	42	34	×	43	43	43	○
	法定点検（12ケ月・定期点検）	営業部	台数	485	490	461	×	495	500	497	○
社会貢献	店舗周辺の清掃活動	全部署	回/月	1	1	2	○	1	1	3	○

・電力の二酸化炭素排出係数は、2020年（令和2年度中部電力ミライズの調整後排出係数（0.379kg-CO2/kwh）を使用する。

・エコカー販売（アイドリングストップ、ハイブリッド、クリーンディーゼル）

・2020年売上高　1,577百万円

環境経営計画　及び　手順書

〈対象期間:2017年8月1日～2018年7月31日〉

環境活動計画　取組項目	実施内容 （手順）	担当部門
電気使用量の削減	始業前・昼休み・休憩時・未使用部屋消灯・空調停止徹底 空調温度管理の適正化　：　冬季20℃　夏季28℃ 室内温度の適正管理　　：　冷暖房止め・窓開放等 OA機器管理　　：　不使用時電源OFF・節電モード 退社・休日・無負荷時の設備電源のOFF クールビズ・ウォームビズの推進	全部門
ガソリン・軽油の削減	ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの実施:急発進・急加速・空ぶかし排除、ｴｱｺﾝ控え アイドリングストップの実施 運行管理の徹底　：　最適運行最短距離の選択	全部門
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減:分別の徹底、ﾘｻｲｸﾙ可能品の増加 コピー用紙の削減　：　両面コピー、裏紙使用、メール活用 産業廃棄物の削減　：　分別の徹底、資源化促進 マニフェスト管理	工場部門
水排出量の削減	節水啓蒙活動の実施:節水ラベル点検、朝礼での呼びかけ 節水の実施　：　手洗い時・洗車時節水、トイレ2度流し禁止 水洩れ点検　：　蛇口水洩れ点検、メーター漏水チェック	全部門
化学物質の適正管理	塗料・シンナーの購入量の管理	工場部門
グリーン購入の推進	事務用品・備品のグリーン購入推進	工場部門
環境配慮製品・サービスの提供	エコカーの販売推進 パックdeメンテ契約の推進 法定点検（12ケ月点検・定期点検）の推進	全部門
社会貢献	店舗周辺の清掃活動	全部門

主要取組み項目

・電気使用量の圧縮

①エアコン設定温度（冷房28℃、暖房20℃）の定着

・会議室や休憩室等
　人のいない場所での消灯は定着しました
　人数により必要な場所だけの点灯も定着しました

・しかし、エアコンの28℃や20℃の室温設定の
　徹底は今後の課題となりましたが
　不要時の電源オフは定着してきました

②事務所、工場の2か所へ温度計を設置

・エアコンの設定温度が室温であるとの認識が高く
事務所内の温度も窓側や出入口では
　温度差があることは理解しているものの
　具体的な温度差を確認することから始めました
・室内空気の攪拌機(サーキュレーター)で
　確認することで換気の必要性やこまめな
　温度設定が使用量の圧縮につながることを学びました

③会議室の間引き照明

・高反射リフレクターの装着　→　約30%の照度アップ

・点灯スイッチを分割し、人数に応じた照明を使用

・窓側の照明は蛍光灯を間引いて使用

・天井灯・その他電灯のLED化

・水使用量の圧縮

・人の意識による節約にも限界もあり
　使用頻度の高い蛇口には節水コマを追加し、

主要取組み項目

・ガソリン/軽油使用量の軽減
①社員にエコドライブの推進を行う

・燃費の良い走行を心がけるようになりました
・無駄なアイドリングを止め、燃料の軽減の意識がついてきました

※社内で使用する燃料へ対する意識は増しているが、販売車両への
納車前給油によりガソリン/軽油の使用量がかなり左右してしまう

・会社周辺の清掃活動の実施
①1回/月　の目標を守り、会社周辺道路等の清掃を実施しています
店舗によってはほぼ毎日、会社前の道路の清掃を実施しています

環境活動計画の取組結果と評価・次年度の取組

環境活動計画	実施結果	実施内容 （手順）	担当部門
電気使用量の削減		**未達成**	全部門
始業前・昼休み・休憩時・未使用部屋消灯・空調停止徹底	○	・未使用部屋の消灯は定着	
空調温度管理の適正化 ： 冬季20℃ 夏季28℃	△	・事務所の室温設定は定着	
室内温度の適正管理 ： 冷暖房止め・窓開放等	○	しかしショールームが広くお客様の来店時の温度設定	
OA機器管理 ： 不使用時電源OFF・節電モード	○	に今後の課題	
退社・休日・無負荷時の設備電源のOFF	○		
クールビズ・ウォームビズの推進	○	**先期より若干減少も達成に至らず**	
		次年度も取組を継続する	
ガソリン・軽油の削減		**達成**	全部門
ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの実施：急発進・急加速・空ぶかし排除、ｴｱｺﾝ控え	○	・エコドライブは定着	
アイドリングストップの実施	○	・納車時や代車に入れる量を減らすようにした	
運行管理の徹底 ： 最適運行最短距離の選択	○	・燃料使用の管理徹底が定着	
		次年度も取組を継続する	
廃棄物排出量の削減		**未達成**	工場部門
一般廃棄物の削減：分別の徹底、ﾘｻｲｸﾙ可能品の増加	○	・ゴミの分別は定着	
コピー用紙の削減 ： 両面コピー、裏紙使用、メール活用	○	・コピー用紙の裏紙使用も定着	
産業廃棄物の削減 ： 分別の徹底、資源化促進	△	しかし産業廃棄物の量自体の削減に繋がらず	
マニフェスト管理	○	店舗（PCA）の美化を行い不用品処分が影響	
		次年度も取組を継続する	
水排出量の削減		**達成**	全部門
節水啓蒙活動の実施：節水ラベル点検、朝礼での呼びかけ	○	・節水の意識は高まり定着	
節水の実施 ： 手洗い時・洗車時節水、トイレ2度流し禁止	○		
水洩れ点検 ： 蛇口水洩れ点検、メーター漏水チェック	○		
		次年度も取組を継続する	
化学物質の適正管理		**未達成**	全部門
塗料・シンナーの購入量の管理	△	・入庫の増加に伴い購入量も増加	
		次年度も取組を継続する	
グリーン購入の推進		**達成**	全部門
事務用品・備品のグリーン製品購入の推進	○	・グリーン製品を選び購入する意識がついたが微増となった	
		次年度も取組を継続する	
環境配慮製品・サービスの提供		**達成**	全部門
エコカーの販売推進	○	・エコカーの販売は達成できた	
パックdeメンテ契約の推進	○	・商談時にパックdeメンテ推進が定着	
法定点検（12ケ月点検）の推進	○	・顧客フォロー推進	
		次年度も取組を継続する	
社会貢献		**達成**	全部門
店舗周辺の清掃活動	○	・2回/月 以上行なう事ができ、店舗周りの美化にもつなが	
		次年度も取組を継続する	

◎よくできた ○だいたいできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境関連法規制順守状況と違反、訴訟等の有無　　確認日 2023年7月30日

関係する法律		適用される要求項目	順守	対象店舗
大気	○自動車NOX PM法	□自動車排出窒素酸化物等の排出抑制に努める	○	全店舗
	○フロン排出抑制法	□エアコン設備の点検	○	全店舗
水　質	○下水道法	□下水道への放流	○	全店舗
		□除害施設の設置		全店舗
	○浄化槽法	□設置または変更時の届出	○	軽自動車専門店
		□保守点検		軽自動車専門店
		□定期検査（年1回）		軽自動車専門店
	○水質汚濁法	□特定施設の届出（自動式車両洗車機）	○	軽自動車専門店
		□油水分離槽の定期管理		軽自動車専門店
		□事故時n浸透防止、応急処置、事故時の届出		全店舗
騒　音	○騒音規制法	□特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守	○	全店舗
		□特定施設の届出　エアコンプレッサー、送風機など3.75kw以上（愛知県条例）		全店舗
振　動	○振動規制法	□特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守	○	軽自動車専門店
		□特定施設の届出		マツダオートザム半田
廃棄物	○廃棄物処理法	□マニュフェストの適正管理	○	マツダオートザム半田
		□産業廃棄物管理票の報告義務		マツダオートザム半田
		□委託基準の遵守		全店舗
		□廃棄物処分場の定期的な確認		軽自動車専門店
エネルギー	○省エネ法	□第1種(重油換算3000KL以上)、第2種(重油換算1500KL)　使用量	○	全店舗
その他	○消防法	□保管量の遵守	○	軽自動車専門店
		□保管方法、設備の遵守		軽自動車専門店
		□消防説部点検記録の報告消防計画提出（株式会社 榊原に委託）		全店舗
	○グリーン商品調達ガイドライン	□グリーン商品調達ガイドラインに基づき環境に関する問題点の洗い出しを　行い確認する	○	全店舗
県等の条例	○愛知県条例	□廃棄物の適正な処理(適切な産業廃棄物業者との契約)	○	全店舗

1）違反について

関係機関等からの指摘は無く、関係当局よりの違反等の指摘も過去３年間ありません。また、内部評価においても法令違反、訴訟等が発生してないことを確認しました。

2）訴訟について

地域住民から苦情も訴訟等過去４年間ありませんでした。

代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直し

2015(H27)年11月より全社にてエコアクション２１の取組みを新規にスタートし、光熱用水費、燃料費の経費削減と環境負荷の低減に努めてきました。

具体的には株式会社プレストの環境方針を策定し、基本方針は継続的な改善活動を実践し、更なる経費の圧縮と環境負荷の低減をはかることといたしました。

取組を継続していく中で安定して、総合的に基準年度よりも数値的には良くなってきているのですが、販売台数や工場の入庫台数の増加を目指す中で、消費するエネルギーにも増加するものもあり、よりエネルギーの無駄を絞込みながらの取組の必要性を実感しました。

また、ガソリン・軽油等の使用量に関しては、給油量を必要最小限にし、売上高を増加させた中での使用料を減少させた事は評価でき、継続した取組をしていきたいと思います。エネルギーの消費量を抑えるという意識は、全社的に根付いてきましたが、継続的な活動を通じ全社員が、より強い意識をもって環境活動に取組めるよう努力していきたいと思います。

当社における本年度の環境方針・環境目標・環境活動計画等、関係当局・地域住民からの指摘や指導・法令違反・訴訟・苦情等が無い事を確認した事と、目標数値の未達成により現在の「環境方針」「環境目標」「環境活動計画」「環境経営システム」（文書・計画書等）の変更は必要ないと判断し、来年度も引き続き継続して取り組みます。
今後とも自動車の販売、整備等の事業活動を通じ、全社員が環境負荷を低減することが社会的責任と捉え、環境保全活動を全社員で推進してまいります。

実施日　2023年10月10日

代表取締役社長　　榊原　栄一